

H29 年度医療技術等国際展開推進事業専門家派遣報告書

医学医療系 地域医療教育学 教授 前野哲博

派遣期間： 平成 29 年 11 月 21 日 ～ 平成 29 年 11 月 24 日

2017 年 11 月 21 日から 24 日まで、ベトナムホーチミン医科薬科大学と Dong Nai 病院で、現地の指導医を対象に茨城県で行われている指導医養成講習会の一部を実施しました。ベトナムでは、18 か月の臨床研修が必修化されていますが、十分実質化されているとはいえない部分があります。その研修体制確立のための支援プロジェクトの一環として、ベトナムでの TOT (Training of trainers) ワークショップの企画・実施を行いました。

初日は、日本の臨床研修制度について紹介しました。2 日目は、これまでのストレート研修とは違うローテーション研修では何をゴールに研修すべきかを診療科ごとに話し合ってもらいました。皆さん真剣に研修医のことを考えて、研修の趣旨に沿った実現可能性の高い目標を一生懸命作っておられ、その後のディスカッションも真剣に行っていました。午後は、昨年のカリキュラム開発の内容を変更して、指導医の役割、ミニレクチャーのやり方についてワークを行いました。「指導医の役割」については、日本特有の部分もあるのではないかと考えていたのですが、実際の反応は日本と一緒に、改めて、指導医の立場はどの国も同じなんだと思いました。

2 日目は、ホーチミン市から車で 1 時間ほどのところにある Dong Nai 病院を訪問して、午前中が臨床技能教育に関して筑波大学で開発した TEAMS-BI を、午後はフィードバック技法を取り上げました。参加者は、医師よりも看護師さんの方がずっと多く、指導医を想定した内容しか用意していなかったのがびっくりしましたが、最後のコメントのところで、医師でなくても十分学びにつながった様子がうかがえてほっとしました。

現地では、Hong 先生、Tri 先生、Hung 先生、Anh さんのご協力で、気持ちよく TOT ワークショップを実施できました。そして何より、秋山先生に最初から最後まで、ずっとご支援いただいて本当に心強かったです。おかげさまで、楽しい充実した時間を過ごすことができました。この場をお借りして、深く感謝申し上げます。

活動時の写真等

